

特に優れている点	1 大阪市 施策	<p>○【関連】3年以上の理科学習への接続としては、資料提示の工夫がされている。特に、草花の本当の大きさにこだわった「実物大の図版」は、大きさのわかる1cmの目盛りが入っているため、理科学習・観察につながる。</p> <p>○【関連】他教科・他学年との関連については、「植物など自然を使った遊び」を通して理科的な思考につながるようになっている。（上P42～P45, P71～P73, 下P47～P53）</p> <p>○【言語】「伝え合い交流する活動」については、各単元に設けられており、板書や児童の位置など、教師が交流活動の具体的なイメージを持ちやすい。（上P16～P17, P75, 下P28～P29等）</p> <p>○【幼小】幼児教育から小学校教育への滑らかな接続については、スタートカリキュラムが「すたあとぶっく」として掲載されており、その冒頭に保護者に対する記述がある。スタートカリキュラムの意義について述べられているのがよい。また、学習活動の中に、幼稚園や保育所の園児など未就学児との交流活動が1時間の流れとして写真で示されているのがよい。保幼小の交流学习のモデルとなる。（上P78, P104～P105等）</p> <p>○【防災】防災・安全については、まとめて学習できるようになっている。また、単元の中にも「やくそく」として示したり、「べんりてちょう」にまとめて示したりしており、他社より防災や安全に対する記述が多い。（上P20～P22, 下P31）</p> <p>○【ICT】ICT機器の活用については、下巻に多く用いられている。特に巻末の「べんりてちょう」には、ファックス・電子メール、電子黒板、デジタルカメラ・パソコンを道具として紹介している。（下P111, P113, P117）</p>
	2 その他	<p>○生活上必要な習慣や技能については、紙面右側に「やくそく」の欄を設けるなど工夫がされている。</p> <p>○主体的な活動や体験を促す工夫として、活動のめあてや流れがわかりやすいよう見開き紙面で構成されている。</p> <p>○多様な表現活動については、学習活動のまとめ等で、学習カードや新聞・ポスターのほか、手紙やFAXなどが取り上げられ配慮されている。</p> <p>○児童が家庭で過ごす夏休みや冬休みの生活も取り上げており、身近な生活や地域社会に対する関心が深まる配慮があり、3年生以上の社会科学習につながる内容となっている。</p> <p>○成長単元「あしたへジャンプ」（下P91～P102）は、「～ができるようになった」という登場人物のせりふに示されているように、自分自身の成長に気付くという視点で展開されており、取扱いに配慮がされている。</p>
	3 外的 要素	<p>○スタートカリキュラム「すたあとぶっく」のページは、縦が短く、ページも花の型取りがされており、学習単元と区別されていて使いやすい。</p> <p>○各ページの図版や写真は鮮明で、色調もやわらかく見やすい。</p> <p>○表紙がシンプルで見やすい。</p>
	4 構成 配列	<p>○各単元の流れが見開きの左上に書かれており、学習の流れやねらいが分かりやすく構成されている。</p> <p>○季節に沿った構成がされており、見出しの色で四季が区別できる構成になっている。</p> <p>○上巻では学校、通学路、家庭、身近な公園を中心に、下巻は身近な地域へと活動の場を広げて配列されており、児童の発達段階に応じて構成されている。</p>
	5 資料	<p>○学習カードはシンプルで使いやすい。上巻は主に「みつけたよ」カード、下巻は「おしらせします」カードに絞られている。</p> <p>○巻末の「べんりてちょう」に、生活上に必要な習慣や技能だけでなく、理科や社会につながる活動や体験もできるようになっている。</p> <p>○草花の本当の大きさにこだわった「実物大の図版」は鮮明であり、大きさの分かる1cmの目盛りが入っているため、3年生以上の理科学習・観察につながる。</p> <p>○種→双葉→つばみを紙面の大きさを変えることで並べられるようになっており、植物の成長に興味・関心を持って関わる工夫がされている。</p> <p>○「あそびずかん」や「おもちゃずかん」が必要な個所に配置されるとともに、生活上必要な知識や技能については巻末の「べんりてちょう」にまとめられており、加えて各単元の中に関連ページを記載するなど使いやすい工夫がされている。（上P9等）</p>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市 施策	
	2 その他	
	3 外的 要素	
	4 構成 配列	
	5 資料	○巻末の「ぼっけつとずかん」のページは切り取りにくい。

生活 2		大日本図書株式会社（4大日本）	
特に優れている点	1 大阪市 施策	<p>○【関連】他教科、他学年との関連については、自然を使った科学的な遊びや植物の観察を通して3年以上の理科につながる活動が取り入れられている。（上P42～P45, 下P76～P83）</p> <p>○【言語】伝え合い交流する活動は、すべての単元で取り入れられている。</p> <p>○【幼小】幼児教育から小学校教育への接続を意図したスタートカリキュラムにあたる内容として、「みんななかよし」の単元が設定されている。構成の仕方がよい。</p> <p>○【ICT】ICTが活用については、電子黒板やパソコンなどが取り上げられている。（上P72, 下P26電子黒板、P97パソコン、P102実物投影機、巻末資料のP112, P125）</p>	
	2 その他	<p>○防犯や安全・防災に対しては、入学間もない時期から意識をもてるように上巻の前半に位置付けている。自分を守るための「やくそく」もわかりやすい。（上P27～P29）</p> <p>○児童の主體的な学びについては、児童の思考を促すような表現がたくさんある。（下P79, P83）</p> <p>○生命の尊重については、継続的な飼育栽培活動を取り上げており、成長や死など具体的な場面を取り上げている。</p> <p>○家族との関わりにも配慮されており、「かぞくといっしょにおしょうがつ」の単元では、家族との関わりや感謝、自分自身の役割に気付かせる工夫がある。</p>	
	3 外的 要素	<p>○白を基調にした配色は文字や図が鮮明で、見やすい。</p> <p>○写真を使って生き物を観察する様子が示されている。</p>	
	4 構成 配列	<p>○上巻は「なかよし」をキーワードに、学習の対象に主體的に関わり、下巻では「はっけん」をキーワードに探究的な活動を意識した構成になっている。</p> <p>○気付きを促す表現を多く取り入れており、見開きページの上段に子どもの活動や意識の流れが明示されていて分かりやすい。</p> <p>○季節や行事に関連した取り組みが充実している。</p>	
	5 資料	<p>○巻末に「がくしゅうどうぐばこ」が掲載されている。</p> <p>○それぞれのページが白を中心に薄い色合いであるので、写真やイラストが非常に鮮明である。</p> <p>○板書例が図示されているところが1か所ある。（上P72～P73）</p>	
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市 施策		
	2 その他	<p>○成長単元「自分のはっけん」は、誕生からの振り返りを扱っている。様々な家庭背景・成長過程の子どもたちが増える中、誕生や乳幼児期についての取扱いには配慮が必要である。（下P88～P111）</p> <p>○飼育環境の絵図については、ウサギの放し飼いが描かれている。ウサギの繁殖の問題などからするとケージ飼いが多く、実態と異なる。（P19）</p>	
	3 外的 要素	<p>○提示されている情報の量が多い。そのため、写真や図版の上に文字がかかれるなど、読み取りにくくなっている。</p> <p>○興味関心を高めるために、大判の写真を使用し工夫がされている個所があるが、必要なイラストや写真は小さく、インパクトが弱い。</p>	
	4 構成 配列		
	5 資料	<p>○発展学習の資料としての「せいかつことば」、いろいろな「仕掛け」のページなどが組み込まれているが、本来は他教科との関連の中で教師が発展的に指導すべき内容であったり、提示されている資料の意図が分かりにくいものであったりして、取扱いが難しい。軽重をつけて取り扱う必要がある。（上P68のモノクロ写真、上P53, 下P49の透明シート等）</p> <p>○写真資料について、植物の花や種・葉などがどれも同じ大きさに扱われており、比較がしにくい。（上P70～P71, P82～P83等）</p>	

特に優れている点

1
大阪市
施策

○【幼小】幼児教育と小学校教育との円滑な接続をねらったスタートカリキュラムは、生活面、安全面、学習面など様々な教育活動において活用できる。
○【ICT】ICT機器は、下巻に掲載されており、資料として挙げられている。（下P11, P67, P122）

2
その他

○生活上必要な習慣や技能、コミュニケーション、防災や安全生活などの記載は、上巻・下巻巻末に「学び方ずかん」に示されている。
○季節ごとの町の変化において、児童が興味・関心をもって、気付くようなイラストの配置・工夫が見られる。（上P30～P37）
○季節の移り変わりが定期的に記載されているので比較しやすく、季節による変化に気付くことができる。（上P50, P62, P66, P76）
○気付きの質を高める記述は、ふきだしの工夫にみられる。児童の興味や探究的な意欲を喚起するよう、ふきだしが工夫されており、その答えを明示することを避けることで、児童の多様な活動、気付きを認める配慮がなされている。

3
外的
要素

○写真は、ダイナミックに表現されており、自分たちの生活する町や、身の回りの動植物など、児童の興味・関心を喚起している。（上P42, P43, 下P4～P7, P60～P63）

4
構成
配列

○単元ごとに扉ページを設け、期待感を高めるよう工夫されている。単元ごとの色分けも、区別しやすい。
○もくじでは、5つの単元による構成が一目でわかるように、掲載されている。また各活動が年間のうちどの時期に行われるかが見通すことができるようになっている。

5
資料

○写真資料が大きく、興味を呼び覚ますような視点で掲載されている。「わたしのあさがお」の単元では、種・小さな芽・花・種などの写真資料が右隅に掲載されており、ページをずらすことで成長の様子がわかる配置になっている。
○資料として巻末に添付されている「学び方ずかん」により、図鑑など別途用意しなくても十分に活動が深められる。
○自分の気持ちを表示した学習カードを活用することにより、指導者は一目で児童の1時間の活動について把握することができる。指導者の支援の仕方のヒントにもなる。

特に工夫・配慮を要する点

1
大阪市
施策

○【言語】伝え合いや交流活動の例示が少ない。特に、交流活動の場面での、学習の参考となる板書例や掲示物例などが他社に比べて少なく、学習の流れがつかみにくい。

2
その他

○成長単元「わたし大すきみんな大すき」は、できるようになったことから始まり、自分の小さい頃のこと、自分物語、もうすぐ3年生という視点で配列されている。様々な家庭背景・成長過程の子どもたちが増える中、誕生や乳幼児期についての取扱いには配慮が必要である。（下P96～P111）
○児童の気付きや多様な表現活動を大切にしたいが、上巻P36, P37の観察日記、下巻P26, P27の手紙の書き方、P42, P43観察日記の書き方が国語科で扱うように詳しく書かれている。上巻P36, P37の観察日記も入学当初の児童の発達段階では取り組みにくい。

3
外的
要素4
構成
配列

○単元構成のかかわりで、上巻「あそびにいこうよ」のふゆあそびの後に、「いきものだいすき」という単元があり、秋の虫が掲載されている。指導計画の単元配列に留意して指導する必要がある。

5
資料

○「ものしりノート」に記載されている「けいどろ」は、児童にとって人気のある遊びではあるが、ネーミング上授業では扱いに配慮を要する。（上P59）

生活 4		教育出版株式会社 (17教出)
特に優れている点	1 大阪市 施策	<ul style="list-style-type: none"> ○【言語】 伝え合いや交流活動は、板書の例示があり使いやすく、言語活動の活性化につながる。 ○【思考力】 思考力の育成については、思考ツールを活用した場面があり、総合学習の整理分析につながる。(上P75) ○【ICT】 ICTの活用については、コンピュータ、電子黒板、デジカメ・ビデオが掲載されている。(P28, P59, P96) ○【幼小】 幼児教育との接続に配慮したスタートカリキュラムは、イラストを使って幼稚園との違いや小学校の一日などが分かりやすく示されている。
	2 その他	<ul style="list-style-type: none"> ○安全や防災について必要な知識などは、上巻の巻末資料としてまとめられており、児童にも分かりやすい。 ○季節・行事関連については、全国の祭りなどを幅広く取り上げている。(上P88, 89, 下P83)
	3 外的 要素	<ul style="list-style-type: none"> ○写真や文字の大きさは適切であり、資料も鮮明である。 ○色遣いがやさしい色でまとめられており、配慮されている。
	4 構成 配列	<ul style="list-style-type: none"> ○紙面構成が統一されている。例えば、単元ごとに「おしゃべりたいむ」が設けられており学習の流れに見通しが持ちやすかったり、「はっ見ヒント」が右端に配置されているなど、何をどう学ぶのか、ねらい、学習内容、ヒントなどが分かりやすくまとめられている。(上P 1, P6, P9等) ○他教科や他学年との関連については、合科的な取扱いができるように、単元の最初に教科名が明記されている。(上P1, P43, 下P13等) さらに、理科学習へのつながりを意識した「はってん」が示されている。 ○様々な家庭環境の児童が在籍するため配慮が必要な成長単元「あしたへダッシュ」では、自分の良さに焦点を当てているだけでなく、友だちや周りの人たちから教えてもらうことにより、さらに自己肯定感が高まる扱いになっている。(下P88, 89)
	5 資料	<ul style="list-style-type: none"> ○発達段階や学習内容に応じてカードの形式を変えているのが良い。(上P27, P35, P39, 下P74)
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市 施策	
	2 その他	<ul style="list-style-type: none"> ○成長単元「あしたへダッシュ」は、「赤ちゃんのころ」についての記述があり、様々な家庭背景・成長過程の子どもたちが増える中、誕生や乳幼児期についての取扱いには配慮が必要である。(下P84～P92)
	3 外的 要素	
	4 構成 配列	
	5 資料	<ul style="list-style-type: none"> ○3Dカードは取扱いが難しく、必要感が少ない。(上P45) ○巻末の図書紹介なども発展資料として参考にはなるが、必要感は少ない。

特に優れている点

1
大阪市
施策

- 【言語】生活上使う言葉や豊かな表現が、教科書全体を通して工夫されており、言語感覚の素晴らしさを感じる。（ふきだしの表現・生き物の鳴き声・例え方など）
- 【言語】伝え合い交流する場の設定が分かりやすく示されている。（下P25 床地図を用いた情報交流・下P90 身近な人を招いた発表会等）学年の発達段階に応じた道具や方法が用いられており、どの学級でも行える無理のない方法で学習が展開されていることがよい。
- 【防災】安全や防災等に関する記載は適切に配置されている。
- 【ICT】ICTの活用についても、生活科の学習で有効な書画カメラが用いられている。（下P59）

2
その他

- 生活科本来をイメージした精選された情報だけが示されおり、生活科の指導にあたり、それぞれの学校で工夫して指導計画が立てられるような構成になっている。
- 気付きを促すために、ページの構成が工夫されている。（上P47 どうすれば、もっとはるをみつけれられるかな 下P68 どうすればもっとおもしろくなるかな 等）
- 生活上必要な技能については、記号を用い、枠囲みなどして分かりやすい配置になっている。（上P65, 上P69など）
- 「違い」を大切に扱う内容になっている。（上P32～P33 発芽の様子）

3
外的
要素

- 文字や写真の大きさは適切であり、資料も鮮明である。
- 表紙や紙面構成全体にすっきりした仕上がりになっている。

4
構成
配列

- 課題を探究する力が身に付くよう、「ホップ」・「ステップ」・「ジャンプ」という見出しをつけて学習過程が発展的に示されている。
- 児童の興味や探求的な意欲を喚起するよう、ふきだしが工夫されている。また、その答えについては明示することを避け、子どもの多様な活動、気付きを認める配慮がされている。（例：下P62「あそんで ためして くふうして」）
- 成長単元「ひろがれわたし」は、自分の良さに焦点を当てた展開になっており、取り扱いがしやすい。（下P82～P95）

5
資料

- 学習カードは他社と違って汎用性のある形が示されている。（下P11, 下P57など）また、記入例も入学時の児童が文字を獲得する時期に合わせて増えるなど、発達段階に配慮がされている。（上P21, P29, P31, P35）
- 巻末資料はないが、必要な情報は単元に組み込まれている。
- 制作物や活動の例示が必要な個所に精選されて示されている。（上P59, 下P69等）
- 写真資料が大きく、興味を呼び覚ますような視点で掲載されている。（植物の栽培はページの右隅に資料が示されており、ページをずらすことで成長の様子が分かる配列になっている。（上P33→P35→P37→P39）
- 学習カードに教師によるコメントが記入されており、児童の気付きを高めるための支援の仕方が分かる資料になっている。（上P31, P33, 下P77等）

特に工夫・配慮を要する点

1
大阪市
施策

-

2
その他

- 他の教科書に比べて情報がかなり精選されているため、児童が主体的な学びを進めるにあたって情報が不足することが考えられる。

3
外的
要素

-

4
構成
配列

-

5
資料

- 巻末資料がなく、他の教科書と比べると資料が少ない。

生活 6		株式会社 新興出版社啓林館 (61啓林館)	
特に優れている点	1 大阪市 施策	○【言語】言語活動については、多様な活動形態が示されており充実が図られている。紙面左上に「つたえあおう」という表示もされており使いやすい。(上P48～P49など) ○【関連】他教科や他学年との関連については、特に3年以上の理科学習につながるような視点で資料が掲載されている。例えば、おもちゃ作りの単元は、動力(風や空気・じしゃく・ゴム・ひも)を明示している。単元はゴムに特化して展開する一方、巻末に他の力を使って動くおもちゃの作り方がまとめられている。 ○【幼小】幼児教育と小学校教育の接続にあたるスタートカリキュラム「いちねんせいになったよ」は、児童が小学校に対する期待が持てるよう工夫されている。特に「学校の一日の様子」が、時計を用いて時系列示されているため、児童にとって理解しやすい内容になっている。(P6～7) ○【ICT】ICTの活用については、発表場面や記録をする場面に大型カメラなどが用いられている。(下P79デジカメ,下P84大型テレビ・パソコン等)	
	2 その他	○安全や防災について必要な知識などは上の巻末に「わくわくずかん」としてまとめて記載している。 ○生活上必要な習慣や技能を意識して身に付けることができるよう単元内に記載するとともに、巻末に「いきいきずかん」として取り出して表記しており指導しやすい。 ○2つある町探検についての単元は、地域社会に対する関心が深まる内容となっており、3年生以上の社会科学習につながる展開となっている。 ○児童の興味・関心を呼び覚ますよう、諸感覚を使って学習する配慮がされている。	
	3 外的 要素	○学習カードの配置については、どの児童も見やすいように整理されて掲載されているのが良い。(上P38, P39など) ○写真とイラストの使い方については、単元の目的によって使い分けしているところが良い。たとえば、スタートカリキュラムの単元では、幼保・小の連携という観点から児童が親しみやすいようにイラストを中心に活用している。その他植物などの単元ではより具体的に種類などが分かりやすいように写真を活用している。 ○全体に柔らかな色調であり、文字の大きさ・フォント・行間なども適切である。	
	4 構成 配列	○問題解決学習を意識して、全単元を4つの構成(わくわく・いきいき・つたえあおう)に工夫されているので、学習の流れがつかみやすく、指導しやすい。 ○小単元は、ページ左上に小さな表示があり、学習のめあてが明確である。 ○学習単元には「ちゃれんじ」として「発展学習」を設定しており、児童や学校の状況によって扱いやすい。	
	5 資料	○別冊資料「たんけんブック」がついており、校外での学習に活用しやすい。 ○教科書の学習単元に示されている資料や言葉は精選されすっきりしている。 ○上(ひとつぶのたねから)では、植物の生長過程が見やすく分かりやすいように配置されている。また、他の植物とも比較しやすい。	
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市 施策		
	2 その他	○成長単元「これまでのわたし これからのわたし」は、誕生からの振り返りを扱っており、様々な家庭背景・成長過程の子どもたちが増える中、誕生や乳幼児期についての取扱いには配慮が必要である。(下P86～P100)	
	3 外的 要素		
	4 構成 配列		
	5 資料		

特に優れている点

1
大阪市
施策

- 【幼小】幼児教育と小学校教育の接続を扱うスタートカリキュラム「いちねんせいになったら」は、活用しやすい。「スタートカリキュラムの取り扱い方」については枠組みで示されており、生活科をはじめ様々な教育活動の中での活用が意図されている。
- 【言語】発表会や話し合いの場面、交流場面等が多く例示されており、言語活動の充実につながる。（上P31, P56, P63, P73, P108, P109, P118, 下P6, P7, P14, P36, P56, P57, P72, P73）
- 【思考力】思考力の育成については、学習の中で付箋を使って情報を整理分析する場面が示されており、思考力を育てるツールとして他教科や、他学年の学習（総合的な学習等）にも活かすことができる。（上P62, 下P46等）
- 【ICT】ICTについては、伝え合い活動で活用しており、教師が指導する上でのヒントになる。（上P67, 73, 下P72）
- 【防災】生活上必要な習慣や技能、防災や安全生活、命の尊さを強調し、記載している。（上P25, P39, P69, 巻末, 下P73, 巻末）

2
その他

- 公共施設の利用の仕方や障がいのある人に配慮したまちの仕組み、環境保全等について丁寧に取り上げられており、3年生以上の社会科学習につながる内容となっている。
- 様々な家庭環境で育つ子どもが増えている大阪では、取扱いに配慮を要する成長単元「わたしのすてきがはばたく」は、自分や友だちのいいところから始まり、これまでの思い出や、お世話になった人、これからの自分に視点を置いて構成されているので、扱いやすい展開になっている。（下P96～P115）
- 気付きを促し、高めるための教師の支援や声掛けなど、児童の知的好奇心を促す展開が示されており、指導の参考になる。（上P43, P81, 下P45, P47など）
- 授業の流れや児童への発問など、丁寧に記載されているので、学習の見通しをもたせやすく、大変分かりやすい。
- 季節の移り変わりが定期的に記載されているので比較しやすく、季節による変化に気付くことができる。（上P67, P77, P91, P100, P101）

3
外的
要素

- ページの表示スタイルが3種類用いられており、スタートカリキュラム、生活科単元、資料ページの区別がしやすく、ユニバーサルデザインを意識した表示になっている。また、単元ごとに色分けされ、また、単元ごとにイラストで区別されているので大変見やすい。
- イラストや色合いが大変工夫され、児童の興味を引き付けるものとなっている。
- 教科書に登場する人物が上・下巻とも最初に示されており、人物設定にも工夫が見られる。また、単元の中で人物の成長を負うことができる構成になっている。

4
構成
配列

- くり返し体験する単元構成になっており、豊かな体験を通して、児童の様々な気付きが期待される構成になっている。
- 各ページの見出しから、その授業の流れがイメージしやすく大変進めやすい。
- 単元と巻末資料をつなぐ工夫がされており、資料として使いやすい。（上P47のクレヨンマーク）
- 成長単元「わたしのすてきがはばたく」は、自分や友だちのよいところから始まり、思い出やお世話になった人、これからの自分に視点を置いているので、これまでの教科書より扱いやすくなった。（下P96～P115）

5
資料

- 気付きを促す工夫としては、多様な学習カードが記載されており、児童が何に気付いたかなど、ヒントになるものが多い。さらに、P41の「にここかあど」P45の「こまったよかあど」のように、色分けの学習カードを活用することにより、指導者は一目で児童の1時間の活動について把握することができる。
- 情報が多く掲載されている。例えば、季節の移り変わりについては、定期的に記載されており変化に気付くことができる。また、板書例が示されており、伝え合い交流する活動の様子が指導者に分かりやすく、言語活動の充実につながる。（上P31, P63, P118, 下P36など）
- 点字の実物が資料として入っている。

特に工夫・配慮を要する点

1
大阪市
施策2
その他

- 他社と比較して情報量が多く、児童が気付いたり、考えたりすべき内容まで示されている箇所があるため、取り扱いや展開に配慮を要する。

3
外的
要素4
構成
配列5
資料

- 「さかせてみたいな はないっぱい」の単元は、植物の生長過程が見開きページの下段に配置されており、種類ごとに成長の様子を比較することが難しい。